

## 栃木県

届出事業所からの「水域への水生生物に対する毒性重み付け排出量」が全国500位以内の市区町村と  
主原因3物質（令和4年度）

県内 順位	市区町 村名	各市区町村での主原因3物質名と毒性重み付け届出排出量(10 <sup>6</sup> L/年)			
		全物質合計	1位物質	2位物質	3位物質
1	さくら市	59,019,725	EPN 58,560,000	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 207,400	ポリ塩化ビフェニル類(PCB) 85,200
2	真岡市	1,901,916	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル (C:12-15及びその混合物) 1,623,960	ポリ(オキシエチレン)＝ノニルフェニル エーテル 207,400	ニッケル化合物 43,000
3	小山市	1,255,471	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 527,000	ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル (C:12-15及びその混合物) 504,000	ニッケル化合物 207,850
4	足利市	481,739	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 461,550	亜鉛の水溶性化合物 18,318	マンガン及びその化合物 1,068
5	大田原市	450,555	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 308,380	EPN 120,000	亜鉛の水溶性化合物 21,150
6	宇都宮市	406,771	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 255,000	亜鉛の水溶性化合物 123,816	トルエン 15,500
7	佐野市	305,971	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 272,000	亜鉛の水溶性化合物 20,790	鉛化合物 11,620
8	日光市	278,891	銅水溶性塩(錯塩を除く。) 258,400	ニッケル化合物 8,500	亜鉛の水溶性化合物 5,214